

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	総合国語		担当教員	宮口典之		
学年学科	4年 全学科		前期もしくは後期	必修	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(A-2) 20% (C-1) 80%		JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)			
授業の目標と期待される効果： 第3年次までの学習をふまえ、日本語における読解・表現・議論の能力のさらなる育成を図ると共に、古典を素材とした作品を扱うことを通して歴史や文化について考えることを目的とする。 ① 論理の展開を的確に捉える。 ② 自分の考えを論理的に表現できる。 ③ 議論ができる。 ④ 歴史・文化への関心を深める。			成績評価の方法： 中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋作文 40 点＋発表 40 点＋課題 20 点 とし、 総得点率 (%) によって成績評価をおこなう。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 以下に掲げる各能力について、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお①については試験・課題を通して、②については試験・作文・発表を通して、③については発表・課題を通して、④については試験・発表を通して評価を行う。 ① 読解力・聴き取り理解する力が向上したか。 ② 論理的な表現ができたか。 ③ きちんとした議論ができるか。 ④ 歴史・文化への関心は深まったか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心とし、それに作文・発表を行う時間を織り込んで行う。 各自で資料に当たる等、積極的な姿勢が求められる。 課題は必ず提出すること。						
教科書および参考書： 太宰治『お伽草紙・新釈諸国噺』（岩波文庫）						
授業の概要と予定：前期			教室外学修	AL のレベル		
第 1 回：発表の日程調整、作文課題の指示			発表・作文に関する資料を調べる	C		
第 2 回：作文 (1)						
第 3 回：発表 (1) 読解・「お伽草紙」を読む (1)			発表に関する資料を調べる			
第 4 回：発表 (2) 読解・「お伽草紙」を読む (2)						
第 5 回：発表 (3) 読解・「お伽草紙」を読む (3)						
第 6 回：発表 (4) 読解・「お伽草紙」を読む (4)						
第 7 回：発表 (5) 読解・「お伽草紙」を読む (5)						
第 8 回：中間試験			—			
第 9 回：発表の日程調整、作文課題の指示			発表・作文に関する資料を調べる	C		
第 10 回：作文 (2)						
第 11 回：発表 (6) 読解・「新釈諸国噺」を読む (1)			発表に関する資料を調べる			
第 12 回：発表 (7) 読解・「新釈諸国噺」を読む (2)						
第 13 回：発表 (8) 読解・「新釈諸国噺」を読む (3)						
第 14 回：発表 (9) 読解・「新釈諸国噺」を読む (4)						
第 15 回：発表 (10) 読解・「新釈諸国噺」を読む (5)						
期末試験			—			
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)			—			

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	読解及び聴き取り理解することに関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	読解及び聴き取り理解することに関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	読解及び聴き取り理解することに関する問題を解くことができない。
②	論理的な表現に関してほぼ正確(8割以上)に行うことができる。	論理的な表現に関してほぼ正確(6割以上)に行うことができる。	論理的な表現に関してほぼ正確に行うことができない。
③	議論に関してほぼ正確(8割以上)に行うことができる。	議論に関してほぼ正確(6割以上)に行うことができる。	議論に関してほぼ正確に行なうことができない。
④	歴史・文化に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	歴史・文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	歴史・文化に関する問題を解くことができない。